


科目		単位 (時間数)	時期	講師名 (職名) (時間数)	
助産学研究Ⅱ		1 (15)	1 学期 2 学期	① 院外講師 (助産師) (11)	② 教員 (助産師) (4)
目標					
助産学を科学的に追及する姿勢を修得できる。					
回	時間	項目	授業内容	授業方法	講師
1	2	研究計画書の作成	研究課題に即した研究プロセスの実践 ・研究フローに沿った文献抄読とリストの作成 ・既報の批判的総括的解釈 【グループ活動】 ・研究背景と研究目的の明確化 ・適正な検索ワードによる文献検索 ・適正な検索条件による文献の抽出 ・既報の文献リスト化 ・批判的総括的解釈 (グループディスカッションの実施) ・結果のまとめ ・考察 (中間提出)	演習 (課題)	①
2	2				
3	2	研究発表の実際と評価	研究成果発表のための資料作成 【グループ活動】 ・発表用スライド、発表原稿の作成 (提出) ・抄録作成 (提出)	演習 (課題)	
4	2				
5	3		研究発表 ・学内発表 (プレゼンテーション)、質疑応答 ・質疑内容に対応した修正 (発表スライドの改善) ・研究計画書の作成 (提出)	演習	
6	2	学会参加	研究発表の実際 ・学会に参加し、課題レポートを提出する。 ※日本母性衛生学会、日本助産学会のいずれかに参加する。	演習 学会参加	②
7	2				
授業形態		演習、学会参加			
評価方法 点数配分		<ul style="list-style-type: none"> ・研究発表資料 60 点、プレゼンテーション 20 点 (講師①) ※文献検索の正確性・妥当性、考察の妥当性をとくに評価する。 ・レポート課題 20 点 (講師②) ※提出期限 学会参加後 1 週間 履修規程第 5 条、第 6 条に定めるとおりとする。 			
テキスト		・看護の現場ですぐに役立つ 看護研究のポイント			

参考図書等	<p>・エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期・産褥期 2024</p> 
備考	<p>講師の授業時期は並行あるいは前後することがある。</p> <p>* 調査および研究発表はグループで取組み、抄録を作成し、口述で学内発表する(1月)。 発表後、必要箇所を修正し、1週間以内に抄録、最終発表スライドを提出する。</p>